

確認試験結果報告書（データベース登録用）

住 所
会社名
氏 名

(第一類)

物 品 名							
製造会社 又は 輸入会社	住所		Tel				
組 成	全成分（化学名）及びそれぞれの含有率（重量%）						
状 態 (○印)	粉粒状以外 ・ 粉粒状 (粉状 ・ 粒状)		目開き 2 mm網ふるい通過		%		
			目開き 1.18mm網ふるい通過		%		
試験結果 (○印)	燃 焼 試 験	ランク	1 ・ 2 ・ 3		試験データは 別 添		
	落球式打撃感度試験	ランク	1 ・ 2 ・ 3				
	大 量 燃 焼 試 験	危険性	有 ・ 無				
	鉄 管 試 験	危険性	有 ・ 無				
総合判定 (○印)	I 第一種酸化性固体 II 第二種酸化性固体 III 第三種酸化性固体 IV 非危険物						
品 名	第一類 _____						
そ の 他	第三者への確認書の交付		(可 ・ 不可)				
	用途： 連絡担当者		Tel		メールアドレス		
※備 考	S	F1	F2	D1	D2		
※登録番号							

(A4)

注1) 必要事項を記入し、該当する項目を○で囲むこと。

注2) ※印の欄は記入しないこと。

試験名		燃焼試験	
試験実施日		年 月 日	
試験場所			
試験実施者			
試験条件		温度 (°C) 湿度 (%) 風速 (m/s)	
木粉の種類 粒度 その他調整条件			
無機質断熱板		種類 厚さ (mm) 熱伝導率 (W/(m・°C))	
標準物質 の 試験 間	物質名	臭素酸カリウム	過塩素酸カリウム
	純度・等級	() ・ ()	() ・ ()
	粒度		
	製造会社		
	混合比 その他 調整条件	重量比 1 : 1 (合計 30 g)	重量比 1 : 1 (合計 30 g)
	1回目	秒	秒
	2回目	秒	秒
3回目	秒	秒	
4回目	秒	秒	
5回目	秒	秒	
平均値	秒	秒	
試験 物品 の 試験 間	試験物品名		
	混合比 その他 調整条件	重量比 1 : 1 (合計 30 g)	重量比 4 : 1 (合計 30 g)
	1回目	秒	秒
	2回目	秒	秒
	3回目	秒	秒
	4回目	秒	秒
	5回目	秒	秒
平均値	秒	秒	
最小値	秒		
判定 (○印)	※ ランク (1 ・ 2 ・ 3)		

注1) 標準物質及び試験物品について5回を超える測定結果は別紙

注2) ※臭素酸カリウムの燃焼時間以下の場合 (ランク1)
臭素酸カリウムの燃焼時間を超え、過塩素酸カリウムの燃焼時間以下の場合 (ランク2)
過塩素酸カリウムの燃焼時間を超えるか、または不燃である場合 (ランク3)

試 験 名		大量燃焼試験		
試 験 実 施 日		年 月 日		
試 験 場 所		(屋内 ・ 屋外)		
試 験 実 施 者				
試 験 条 件		温度 (°C) 湿度 (%) 風速 (m/s)		
木 粉 の 種 類 粒 度 そ の 他 調 整 条 件				
無 機 質 断 熱 板		種類 厚さ (mm) 熱伝導率 (W/(m・°C))		
標 準 物 質 の 試 験	物 質 名		過 塩 素 酸 カ リ ウ ム	
	純 度 ・ 等 級		() ・ ()	
	粒 度			
	製 造 会 社			
	混 合 比 そ の 他 調 整 条 件		重 量 比 2 : 3 (合 計 5 0 0 g)	
	燃 焼 時 間	1 回 目		秒
		2 回 目		秒
		3 回 目		秒
		4 回 目		秒
		5 回 目		秒
		平 均 値		秒
試 験 物 品 の 試 験	試 験 物 品 名			
	混 合 比		体 積 比 1 : 1 (合 計 5 0 0 g)	
	燃 焼 時 間	1 回 目		秒
		2 回 目		秒
		3 回 目		秒
		4 回 目		秒
		5 回 目		秒
平 均 値		秒		
判 定 (○印)		※ 危 険 性 (有 ・ 無)		

注 1) 標準物質及び試験物品について5回を超える測定結果は別紙

注 2) ※過塩素酸カリウムの燃焼時間以下の場合 (危険性有)
 過塩素酸カリウムの燃焼時間を超えるか、または不燃である場合 (危険性無)

試験名	落球式打撃感度試験		
試験実施日	年 月 日		
試験場所			
試験実施者			
試験条件	温度 () °C 湿度 () %		
赤りん	純度 () 等級 () 粒度 () 製造会社 ()		
標準物質の試験	物質名	塩素酸カリウム	硝酸カリウム
	純度・等級	() ・ ()	() ・ ()
	粒度		
	その他調整条件		
	製造会社		
	落球の重量	g	g
	50%爆点	cm	cm
	標準偏差		
試験物品の試験	試験物品名		
	比較物質	塩素酸カリウム	硝酸カリウム
	落球の重量	g	g
	落高	cm	cm
	10回試験	/	/
	30回試験	/	/
	合計	/	/
判定 (○印)	※ ランク (1 ・ 2 ・ 3)		

注1) 40回を超える測定結果及びデータ集計表は別紙

注2) ※塩素酸カリウムとの比較試験において「爆」が1/2以上の場合…… (ランク1)
塩素酸カリウムとの比較試験において「爆」が1/2未満、かつ、
硝酸カリウムとの比較試験において「爆」が1/2以上の場合…… (ランク2)
硝酸カリウムとの比較試験において「爆」が1/2未満の場合 …… (ランク3)

[データ集計表]

1 塩素酸カリウムを標準物質とする試験

(1) 50%爆点の算出

落 高		〔爆〕 〔不爆〕の回数 (n)	i	i × n	i ² × n
H (cm)	常用対数 (logH)				
_____	_____	N s =	_____	A =	B =

$$H_{50} \text{ (50\%爆点)} =$$

$$S \text{ (標準偏差)} =$$

(2) 試験物品の測定結果

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合 計	備 考
落 球 重 量 g											/ 10	
											(/ 30)	
											/ 40	

注1) 試験物品の測定結果の記入 (爆:○ 不爆:×)

注2) 試験物品の測定結果の記入において、40回を超える測定結果は別紙

2 硝酸カリウムを標準物質とする試験

(1) 50%爆点の算出

落 高		〔爆〕 〔不爆〕の回数 (n)	i	i × n	i ² × n
H (cm)	常用対数 (logH)				
_____	_____	N s =	_____	A =	B =

$$H_{50} \text{ (50\%爆点)} =$$

$$S \text{ (標準偏差)} =$$

(2) 試験物品の測定結果

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合 計	備 考
落 球 重 量 g											/ 10	
											(/ 30)	
											/ 40	

注) 1 (2) の注1及び2に同じ。

試験名	鉄管試験
試験実施日	年 月 日
試験場所	
試験実施者	
試験条件	温度 (°C) 湿度 (%)
可燃性物質	セルロース粉 粒度 ()
試験物品名	
調整条件	
混合比	重量比 3 : 1
使用鉄管等	
伝爆薬	
電気雷管	
爆発の程度 (○印)	1回目 (完爆 ・ 不爆) 2回目 (完爆 ・ 不爆) 3回目 (完爆 ・ 不爆)
判定 (○印)	※ 危険性 (有 ・ 無)

注1) 3回を超える測定結果は別紙

注2) ※3回の試験のうち1回以上鉄管が完全に破裂した場合 …… (危険性有)

3回の試験においていずれも鉄管が完全に破裂しなかった場合 …… (危険性無)